



貼合工程のコルゲータ(段ボールシート製造機械)



## 愛知県春日井市

—— 今回の訪問先 ——  
レンゴー株式会社 新名古屋工場



環境に配慮した設備を積極的に導入した新名古屋工場



レンゴーの段ボール工場で初となる免震自動製品倉庫

## 超エコ製品を生み出す 世界最高水準の段ボール工場

レンゴー株式会社(以下、レンゴー)の源流は、1909年、日本で初めて段ボールの事業化を果たした三盛舎さんせいしゃにあります。創業以来、レンゴーは包装業界のリーディングカンパニーとして先進的な取り組みをもって発展を続け、現在は板紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に多彩なパッケージング事業を展開しています。

そのレンゴーの先進的な取り組みを象徴するのが、2014年1月に開設した新名古屋工場です。少ない資源で付加

価値の大きい高品質な製品づくりをめざすという、同社のキャッチフレーズ「Less is more.」を体現する段ボール工場だけに、さまざまな技術を駆使し、高い品質と生産性を両立させています。

新名古屋工場の大きな特長は、国内有数のラック式免震構造の自動製品倉庫です。震度6強の地震でも荷崩れを起こさないうえ、出来上がった製品の入庫から出荷までを自動化し、効率的な在庫管理と物流業務の安全性向上が図られています。さらに、原紙から段



ボールシートをつくるコルゲータをはじめ、最新鋭の生産設備を備えています。

地球環境保護のための工夫をしているのも新名古屋工場の大きな特長。その代表例が、7,436枚もの太陽光パネルによる太陽光発電設備です。年間発電量は約425世帯分の年間消費電力に相当します。太陽光パネルの多くは屋上に設置されているため、工場内の暑さ対策にも役立っています。ほかにも、全照明のLED化をはじめ、排気ガスの出ないバッテリーリフトやガスボイラーを採用してCO2排出量の低減に努めるな

ど、さまざまな環境配慮が施されています。地球環境への配慮だけでなく、自然光を活用した明るく働きやすい作業環境も実現しています。

レンゴーはこういった工場内の施設だけでなく、生産する段ボールそのものでもエコを追求しています。一般的な段ボールは厚さ5mmのAフルート※1ですが、レンゴーは厚さ4mmのCフルートを開発。薄い、軽い、丈夫で強い、CO2発生量が少なく、保管スペースの低減が図れる。こうしたメリットがお客さまに評価され、Cフルートへの転換率は50%を

超えるまでになっています。レンゴーは、さらなるイノベーション創出に向け、2mm厚のデルタフルート※2を開発し、現在、その普及に努めているところ です。

超エコ段ボールをはじめ、防災段ボールや耐水段ボールなど、パッケージの可能性を追求するレンゴー。さまざまなニーズに積極的に働きかける提案型のゼネラル・パッケージング・インダストリー(GPI)として、今後も挑戦を続けていきます。

※1 フルート:段ボールの厚さ  
※2 Bフルート(3mm)とEフルート(1.5mm)の中間の厚みで、レンゴーオリジナルの段ボールの規格



段ボールの原紙は、使用済み段ボールをリサイクルした古紙からつくられています



波形の中しんとライナ(原紙)によって片面段ボールがつくれた後、もう1枚ライナを貼り合わせて段ボールシートが完成します



出来上がった段ボール製品は、自動搬送機によってラック式免震自動製品倉庫に運ばれます



1分間に400枚という世界最速を誇る機械をはじめ、製函工程の設備も高品質な製品づくりを支えています



### 私たちの職場周辺はこんなところです!

秋はカエデの紅葉がきれいです

当工場があるのは、「書道の神様」小野道風の出身地である春日井市。市内の散歩スポットとして、春日井市都市緑化植物園(グリーンピア春日井)が有名です。緑と花の休憩所(温室)やハーブ園、バラ園など、園内の至るところで四季折々の植物が見られます。昨年、「ニュートンのリンゴの木」が寄贈されたことも話題に。動物ふれあい広場やアスレチックなどの施設もあるので、親子でも十分楽しめます。



総務部総務課  
勅使川原 萌 さん



ニュートンのリンゴの木

#### 拠点DATA

##### レンゴー株式会社 新名古屋工場

所在地 愛知県春日井市明知町頓明1514番地82(明知東工業団地内)

開業日 2014年1月

生産品目 段ボールシート、段ボールケース

<http://www.rengo.co.jp/>



「革新的な製品づくりを通じて、パッケージングで中部地域の経済発展を支えていきます」



リサイクル性が高く、物を安全に美しく装う段ボールは、今や物流に欠かせない包装材となっています。世界最高水準の生産設備を擁する当工場では、デルタフルートに代表される革新的な段ボールの生産など、「人に、環境に優しいこと」を基本に、「Less is more.」のイノベーション実現に向けて取り組んでいます。来年は、当社が名古屋に拠点を構えてちょうど100年にあたり、最先端の工場としてリーダーシップを発揮しようと、工場全体のモチベーションもアップしています。今後も、お客さまのニーズに応えながら、パッケージングの面から中部地域の経済発展を支えるために努力していきます。



新名古屋工場 工場長 井上 芳 さん